

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

.理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

.安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

.サービスの成果に関する項目

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。

各自己評価項目について、「取組みの事実」を記入し、取組みたいに を付け、適宜その内容を記入すること。

「取組みの事実」は必ず記入すること。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホーム蘭

(ユニット名)

記入者(管理者)

氏名

清水 勝美

評価完了日

平成 19 年 7 月 31 日

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年9月30日

【評価実施概要】

事業所番号	3871400259		
法人名	有限会社和家		
事業所名	グループホーム 蘭		
所在地	愛媛県西予市宇和町河内166-1 (電話) 0894-66-0696		
管理者	清水 勝美		
評価機関名	特定非営利活動法人 JMACS		
所在地	松山市三番町六丁目5-19 扶桑ビル2階		
訪問調査日	平成19年8月12日	評価確定日	平成19年9月30日

【情報提供票より】 (平成19年7月28日事業所記入)

(1) 組織概要			
開設年月日	平成17年11月4日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤	8人, 非常勤 1人, 常勤換算 6.3人
(2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)			
家賃(平均月額)	700/1日 21,000 円	その他の経費(月額)	利用状況により異なる
敷金	有(円) (無)		
保証金の有無(入居一時金含む)	有(円) (無)	有りの場合償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	200 円	昼食 350 円
	夕食	350 円	おやつ 100 円
	または1日当たり 1,000 円		
(3) 利用者の概要 (平成19年7月28日現在)			
利用者人数	9 名	男性 2 名	女性 7 名
要介護1	1 名	要介護2	4 名
要介護3	2 名	要介護4	2 名
要介護5	0 名	要支援2	0 名
年齢	平均 84 歳	最低 80 歳	最高 90 歳
(4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算			
指定 (あり)・なし	指定介護予防認知症対応型共同生活介護		
指定 あり・(なし)	指定認知症対応型通所介護		
届出 あり・(なし)	短期利用共同生活介護		
加算 (あり)・なし	医療連携体制加算		

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>毎月、避難訓練をされており、利用者とともに避難場所まで歩いて行かれ確認をされている。</p> <p>ご家族の来訪時に、ご本人の身体機能の低下や転倒等、ご家族の不安ごとや事業所での生活の希望等を聴きとり、対応できるよう取り組まれている。</p> <p>利用者と職員が散歩に出かけ、時には近くの他のグループホームに立ち寄られることもある。</p> <p>夏場は、一日に2回お風呂に入りたいと希望される方もおられ、希望や体調に応じて支援されている。又、農作業の後に入浴をすすめ、気持ちよく過ごしていただけるよう支援されている。事業所では、基本的に同性介助となっている。</p>
--

【質向上への取組状況】

<p>前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>・おむつの収納について職員で話し合い、配慮された。</p>
<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>・職員全員で自己評価に取り組み、代表者、管理者、主任でまとめられた。自己評価作成時、職員の日々の利用者への対応や声かけ等について気付かれたこともあり、今後の改善点等を明確にされた。</p>
<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>・運営推進会議時、地域の方達から地域福祉施設合同の納涼祭を開催して欲しいとの提案があり、8月に開催する予定となっていた。</p>
<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7,8)</p> <p>・毎月、利用者の方々の暮らしぶりや行事、状態について報告をされている。預かり金の明細についても報告をされている。年賀状をご本人が書き、ご家族に出しておられる。</p>
<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>・事業所は、公民館、小学校、保育園に隣接しており、地域の人達と交流する機会が多くある。訪問調査時、地域の盆踊りの準備の太鼓の音が聞こえ、利用者は楽しみにされていた。高校生がボランティアに訪れていた。</p>

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価)		
			地域生活の継続支援と事業所と地域性強化をうたった理念で、その人らしく生き生きと輝くよう、尊厳と、心からケアしてゆくこととしている。		持っている能力を活かし、生きる目標を一緒に探す、地域との交流で家庭的で季節に応じた雰囲気味わってもらおう。
			(外部評価)		
			利用者が地域の中で「毎日をいきいきと過ごす」ことができるよう日々取り組まれている。		
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価)		
			毎月の職員会などでは、日々、理念がサービスの提供場面において反映されているか否か話し合っている。		入居者が自分を自由に主張できるように、話を聞いたり、又、それが理念の実践になるのか職員会で話し合う。
			(外部評価)		
			事務所前に事業所の理念が掲示されている。日々の取り組みの中や、職員会等でも話し合いがなされ、理念の実践に向けて取り組まれている。		
3		家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価)		
			家族会などで、折にふれ伝える。地域活動に参加する、散歩や買物に行き地域と接することで人間関係をひろげている。家族には毎月ホーム便りを送り、利用者の様子を知らせている。		団体、個人の方とのイベントに積極的に参加し、行き来する、さらに家族との共有時間を持つ。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
2. 地域との支えあい					
4		隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 散歩などで会う人には挨拶や、気軽に声を掛け合い、学校などで行事の交流をはかっている。		さらに、大人も子供も笑顔で話しかける、近所付き合いの取り組みをしたい。
5	3	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 公民館、学校などの地域行事には積極的に全員で参加している。 (外部評価) 事業所は、公民館、小学校、保育園に隣接しており、地域の人達と交流する機会が多くある。訪問調査時、地域の盆踊りの準備の太鼓の音が聞こえ、利用者は楽しみにされていた。高校生がボランティアに訪れていた。		認知症であっても、此处で、地域の方との生活を楽しむ取り組みをする。
6		事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	文化祭などに、利用者の作品をだす。学生の研修を受け入れている。		無理しないで継続できる交流会の参加。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
7	4	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 結果はミーティングで報告し、改善に向け実践につなぐ努力をしている。 (外部評価) 職員全員で自己評価に取り組み、代表者、管理者、主任でまとめられた。自己評価作成時、職員の日々の利用者への対応や声かけ等について気付かれたこともあり、今後の改善点等を明確にされた。		全員の目標が同じく、具体的な改善をとりこんでゆきたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの 実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価)		
			年間計画を建て実施し事業所の現状を報告している。 自由に何でもはなす。		機会があれば、会議の内容を理解してもらい、地域住民の方との接点になってもらう。
			(外部評価)		
			運営推進会議時、地域の方達から地域の福祉施設合同の納涼祭を開催して欲しいとの提案があり、8月に開催する予定となっていた。		
9	6	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価)		
			市の職員の参加、発言、指導を受け、市との報告や連絡を密におこなうようにしている。		各自の立場、意見を聞くようにしている。
			(外部評価)		
			市の窓口に出向いた際に、水分補給について等の指導をいただき、日々の生活の中で気を付けておられる。介護相談員の受け入れもされている。		
10		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価)		
			研修会には参加し、ミーティングに説明する、なかなか難しい問題であると思う。		分かりやすく利用できる制度になるよう願う。
11		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見逃されることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)		
			虐待防止に関する理解浸透の取り組みを行っている。言葉や精神的な虐待を見逃されているようにおもえる。		謙虚にかかわりたい。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
12		契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 入居者を預かる側としてのハード、ソフト面で安心して預けられるよう説明している。		契約時から、終了まで、何時でも相互理解できるよう話し合いの機会を大切にする。
13		運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 介護相談員、見学者、ボランティア、他施設との交流機会を大切にし、職員間の意見交換をする。		家族、利用者の表現できない言葉を（心のなか）探す。
14	7	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 毎月通信として、個人の生活情報や、預かり金の報告を家族にしている。		家族との絆を大切にする。お互いが十分に理解できるよう報告する。
			(外部評価) 毎月、利用者の日々の暮らしぶりや行事、状態について報告をされている。預かり金の明細についても報告をされている。年賀状をご本人が書き、ご家族に出しておられる。		
15	8	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 個人の情報を守りながら、家族会も出来るだけ多くの人が参加してもらう。家族の意見などは職場で話し合う。		自由な発言と協力の連携、家族が自由に意見を述べる環境をつくる。
			(外部評価) ご家族の来訪時に、ご本人の身体機能の低下や転倒等、ご家族の不安ごとや事業所での生活の希望等を聴きとり、対応できるよう取り組まれている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 毎月定期的に、全職員の研修と、随時に親睦会を実施している。		何でも自由に発言できる研修会、さらに、職員会、親睦会などの機会を設け意見を聞き現情に反映させる。
17		柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 緊急な勤務の変更時には、近所にパートがある。行事ごとには増員の体制ができる。		希望休が自由にとれる。
18	9	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 離職者は未だない。		
			(外部評価) 開設時以来、離職者はなく、職員は利用者とは馴染みの関係となっている。		
5. 人材の育成と支援					
19	10	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 交替で研修を受講する機会を設けている。		常に自分を反省し、次のステップを踏む自主努力をおしまない。
			(外部評価) 外部研修の年間計画を立てて職員が出席をされている。研修内容は、その月の職員会で報告されている。日々のケアの中で声かけや対応について、管理者や職員で確認し合うようにされている。利用者の持病についての研修等も受講されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価)		
			地域の福祉連絡協議会に参加し情報を交換する、研修会には交代で参加する。		他の施設と交流し、他施設のサービスの向上に努める。
			(外部評価)		
			利用者と職員が散歩に出かけ、時には近くの他のグループホームに立ち寄られることもある。地域の他施設と交流する機会が多くあり、ネットワークが構築されている。		
21		職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価)		
			他施設との交流会、ストレスや悩みを話しあう親睦会、旅行の実施している。		
22		向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価)		
安心と信頼に向けた関係づくりと支援 1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
23		初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価)		
			本人、家族の入所前の情報や率直な意見を聞く、何度も話し合いの機会を持つ。		本人、家族の思いを聞き、ベストな方向を一緒に求める。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
24		初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 来所して実際を見てもらう、今から継続する家族とのつながりを十分に話あう。		預けっ放しにしない、家族との情報交換。
25		初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 紹介事業者や、相談家族との信頼を得るまで十分に話を聞く。		相手の本心を少しずつ受容すると共に、所の目的を説明する。
26	12	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 居宅事業者には日ごろより、見学、交流の機会を持ったり、家族の見学で職員の交流もする。 (外部評価) 入居前にご本人とご家族で事業所を見学されたり、職員もご自宅へ訪問し、ゆっくりお話をする等、ご本人がゆっくりと場の雰囲気に馴染めるよう取り組まれている。		職員の態度、施設の方向性に柔軟性をもてること。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
27	13	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 利用者の方に教わることが多い、利用者の思いや不安など話を聞くよう努めているが、日々の勤務に追われ話を十分に聞いてあげられない事もある。 (外部評価) 職員は、利用者に礼儀作法や冠婚葬祭のこと、地方の習わし(お正月、お盆)等について教えてもらっている。又、時に利用者に悩み等を聞いてもらうこともある。		持てる能力を活かし、利用者と介助員がお互いに支えあう関係を築く。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
28		本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 家族と同じ思いで支援していることを伝えている。又、利用者の思いを共有するように努めている。		時間をかけユックリと共に歩む姿勢、利用者の様子を細かく観察して話せる場面を多くしたい。
29		本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 外出、外泊で家族と過ごすことを勧めたり、行事に家族を誘うことで、より良い関係にしている。又、家族の思いや状況を把握し改善に向けた支援の提案、実行をする。		家族の絆を大切にする。
30		馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	(自己評価) 外出など希望に添うよう家族とも相談する、出来ている人、いない人、出来てる部分、そうでない部分がある、集団生活のなか個々のニーズに応えにくい事もある。理容、美容などは本人の希望する店に連れてゆく。		仲良くできる時間の持ち方、趣味や共通の話題が出来る人同士の時間や関係を保つ。
31		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 共同生活の中で皆が穏やかに過ごす時間、利用者同士の会話など職員が調整役なるように支援し、気のあう人の席を近くに作る。		気分を害しない共有時間の持ち方、遊び、学び喜ぶサービス
32		関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 日常から家族との交流を続けておく、入院しても時々訪問し様子をお伺いする。		季節の便りを出し、きげん伺いをする。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
33	14	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価)		
			今の本人の力を見出す、ニーズを理解する、本人にとって何処で誰と過ごすがよいか家族を交えて検討する。入浴時や勤務時、一人の人と関われる時に話すようにしている。		常日頃から、声かけ観察、記録をし、職員間で話しあう。
			(外部評価)		
			利用者との日々のかかわりの中で、職員は個々の思いや意向を把握できるよう努めておられる。		事業所では、さらに細やかな利用者個別ケアを目指しておられ、今後、利用者一人ひとりの思いをさらに把握していきたいと考えておられた。
34		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価)		
			家族からの情報や、日々の暮らしのなかから、折にふれ話を交わすように努めている。		面会の機会を多く持って、情報をえる。
35		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価)		
			健康管理と、持てる力を発揮する機会をつくる。入居者の生活リズムを理解し行動、思考から本人の全体像の把握につとめている。		一人、一人の出来ることを観察し、職員間で話し合い可能性をみつける。
トリ					
36	15	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価)		
			日頃の関わりの中で、家族、本人の思いを聞き反映するようにしている。職員会で意見交換をし管理者を通して家族から得た情報を伝えている。		各担当者の日頃の視点を重視する。
			(外部評価)		
			毎月、担当者会を開催し、利用者、ご家族の意見や日々の記録に基づき話し合い、介護計画を作成されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
37	16	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価)		
			ニーズは家族、本人に聞き、意欲を持ち、実行可能なサービスをつくる。毎月、担当者会で利用者のサービス検討会をしている。		現状にそくして、変更、見直しをしている。
			(外部評価)		
			年に1回の見直しとなっている。利用者の状態、家族の意見なども聞きながら計画を作成しておられる。介護計画に基づき毎月サービス担当者会を行ない、日々の気付きについて話し合い、ケアにつなげていけるよう努めておられる。		
38		個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価)		
			5W1Hと事実を適格に記録し、継続的な見直しをする。		小さい目的でも達成感のある計画をたてる。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
39	17	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価)		
			家庭的な雰囲気づくり、職員と環境の機能を生かし、臨機応変にサービスを提供する。		
			(外部評価)		
			地域の行事等への参加、利用者の希望による買い物等、ご本人、ご家族の意向に応じて支援されている。		

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
40		地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 地域の人が認知症を正しく理解してもらう交流をする。保育所や小学校、地域ボランティアと連携している。		地域の催物には全員参加し、協力を惜しまない。
41		他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) 日頃より他の事業者との交流をおこない訪問美容のサービスを利用している。		
42		地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 市、社協、地域包括センターに行き指導を受けている。		市の福祉係りとの情報交換や相談ををしている。
43	18	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) かかりつけ医が往診してもらえず、定期受診をしている。		定期的に往診もお願いしたい。
			(外部評価) ご家族同行でかかりつけ医を受診されている方もいおられる。		さらに、事業所では緊急時の往診や相談等もできるようにお願いしたいと考えておられる。
44		認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 認知症の専門医がない。		家族と相談して、治療には協力してもらう。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
45		看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護師との連携体制はじゅうぶんとれている。		体調の小さな変調も見のがさない。
46		早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 入院しても病院や本人との連絡、相談援助をしている。		入院しても訪問し、本人との接見を継続する。
47	19	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 検討中だが、今後は終末期にも対応すべき、定期的な通信により健康状態もお知らせする。 (外部評価) 看取りのケアについてご家族とも相談されており、希望されている方もおられる。職員でも話し合い、方針を共有されている。		重度化した場合や急変時を想定した訓練をしたい。 さらに、今後、事業所の方針や体制についてご本人ご家族、職員や医療機関等と繰り返し話し合っていけることが期待される。
48		重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) かかりつけ医の間でまだ、十分に話が出来ていない。		
49		住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 家族、本人の守秘義務を尊重しながら情報交換をする。		本人の了解を得ながら、他の施設の情報を提供する。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1.その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
50	20	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価)		
			さりげない声かけをしてプライバシーに気配りしているが徹底でき居ない事もある。		帳票などは常に、記録後は所定の場所に保管することを留意する。
			(外部評価)		
			調査訪問時、職員は、排泄誘導や食事介助時、利用者に対しさりげなく声かけをされていた。		事業所では、自己評価作成時に日々のケアについて振り返り、今後、さらに一人ひとりの尊厳を大切に利用者とかかわっていきたいと考えておられた。
51		利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価)		
			利用者の希望に添うよう接しているが時々、仕事が優先になっている時がある。		言葉の表現の下手な人も、本人の思いに耳を傾け、表現しやすい雰囲気作りをする。
52	21	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価)		
			努力はしているが、仕事の都合や勤務体制で無理な場合もある。出来るだけ個別性の支援を行う。		「待つて」「後で」の言葉を少なくしたい。広い意味でゆとりの支援をしたい。
			(外部評価)		
			利用者の中には希望の出にくいような方もあり、ご家族に意見をお聞きしたり、利用者の状態も踏まえて支援されている。		事業所では、さらに職員の対応や声かけ等に配慮し、利用者のペースを尊重していきたいと考えておられた。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
53		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 利用者の自由で家族や、訪問美容師に依頼している。又、朝の整容に見まもりしている。		洋服などをユックリ選択できる買い物介助をする。
54	22	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 調理、配膳、片付けは各利用者の出来る事をソレゾレに行い、食事朝食以外は全員でテーブルを同じくしている。 (外部評価) 利用者と職員と一緒に相談しながら、食事の準備をされていた。お茶は温かいもの冷たいものが用意され、ご自分で選べるようにされていた。すまし汁に梅干を加える等、高齢者の馴染みやすいように工夫をされていた。		調理、配膳など、自分の家と思って一緒にする。
55		本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 献立の作成の際、利用者に要望を聞く、又、買い物時に利用者に食材などえらんで貰っている。近所のスーパーで欲しいものを一緒に購入している。		利用者の好みの情報を事前に聞く。
56		気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 一人、一人の生活習慣を把握してさりげなく声かけ、時間の意識をする。布パンツに戻る人もいる。		薬に頼らず、食事、体動で改善し、排泄チェック表を活用する。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
57	23	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価)		
			入浴回数、時間はほぼ自由である。早朝、夜間は入眠などの事もありしていない。気分良く入浴するよう本人の意思を確認している。		希望は全員に聞くが、体調に合わせて、半身浴、シャワー浴、行水もある。
			(外部評価)		
			夏場は、一日に2回お風呂に入りたいと希望される方もおられ、希望や体調に応じて支援されている。又、入浴を嫌がられる方は、農作業の後に入浴をすすめ、気持ちよく過ごしていただけるよう支援されている。事業所では基本的に同性介助となっている。		
58		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価)		
			日中は球技や散歩で活動を促し、夜間の就寝に合わせた就寝時間を支援する。		入眠できるように、音、気温などの環境に配慮する。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価)		
			調理や洗濯、掃除などで個人の能力の発揮により、自分らしい役割の達成感を持つ、利用者に感謝の言葉をかける。		自分の能力に合った仕事を持つ、気晴らしの方法をさがす。
			(外部評価)		
			利用者個々のこれまでの生活習慣等も踏まえて、生活の中で食事作りや洗濯、掃除、手芸やお花等、これまでできていたことを継続できるよう支援されている。ピアノを弾いて楽しめる方もおられる。		
60		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価)		
			全員ではないが、能力に応じて自分で選び、自分の財布から支払い、買い物を楽しむ事で社会参加が出来る。		無理、無駄のないように、買い物のアドバイス。外出により社会参加する。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
61	25	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価)		
			天気の良い日は可能な限り、外出、散歩等の屋外の活動をしている。健康と社会参加のため、本人の希望に添うようにはするが、全てが自由ではない。		外出の困難な人も全員で参加できること。
			(外部評価)		
			利用者全員で地域の行事に多く参加されている。喫茶店にコーヒーを飲みに出かけたり、買い物の際に外食をされることもある。		
62		普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価)		
			一人、一人の思いは無理な場合もある、月1回は外出を行っている。		目的地が遠距離の場合は、家族の了解や協力も必要。
63		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価)		
			本人の希望に応じて電話、手紙を出す支援をしている、又、話やすい場所など環境も配慮している。年賀状などもだしている。		文章の執筆などは、励まし応援する。
64		家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価)		
			家族、友人、知人が気軽に来所するよう、空間作り心がけている。居室以外にプライベートに過ごす場所がない。来客の際には湯茶など心がけている。		面会者が又、来たくなる環境づくりのプランをたてる。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 起因、行為、結果など、職員間で話し取り組んでいる。入居者にとってそのケアが安全の為なのか、拘束なのかを話し合っている。		
66	26	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 外周の施錠は夜間以外はしていない、個室の施錠は本人が行う。徘徊時は一緒にになり気持を聞きながら安全に配慮する。		徘徊の原因を見極めることで、無施錠の時間が長くなる。
			(外部評価) 昼間は鍵はかけられていない。利用者ご自身が居室のかぎを開け閉めして、管理されている方もおられる。		
67		利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) ヒヤリハットの活用、毎月の避難訓練などで、事故防止に取り組んでいる。昼夜とも利用者を見守りしやすいように努める。		勤務者の全員で利用者を見まもる体制づくり。
68		注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 重要な書類、薬などは施錠して保管する。利用者の能力により自己管理してもらうこともある。時々一緒に点検する。		危険防止について学ぶ。
69		事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 消防署により教育訓練を定期的に行っている、ヒヤリハットを基に一人、一人の盲点など共有し検討し、見守りの徹底をするようにしている。		事故防止についてさらに職員の意識づけをおこない、救急救命の訓練をする。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 緊急対応には周知徹底し、連絡対処の方法を身につけるようにしている。夜間も同じく対応している。		救急の訓練、毎月の避難訓練の実施。
71	27	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 消防署による訓練の実施、毎月の訓練時の近所の協力体制の確保している。 (外部評価) 毎月、避難訓練をされており、利用者とともに避難場所まで歩いて行かれ確認をされている。近くの公民館が避難場所となっており、災害時、消防団、区長、近隣の人などに協力を依頼されている。非常時のためにテラスに車椅子用の避難口を設置された。		実際に災害に会った時、地域の協力体制の確保。
72		リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) 危険度の発生の多い人は内容を家族に連絡するようにしている。		安全な活動と、その反応を見ながら対応する。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 毎日、定期的にバイタルチェックと観察、小さなサインも早期に発見する。看護師も常勤し連絡体制ができている。症状に応じて主治医、担当医に相談する。		早期の対応で家族にも安心してもらおう。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
74		服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 申し送りをし、服薬の説明書が個人記録に添付してある。副作用までは理解できていないこともある。薬の確実な飲み込みの確認するようにしている。		服用の経過や、服用している薬の事を詳しく申し送りする。
75		便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 排泄チェック表の確認と排便を誘う食材の調理などで、薬の服用を抑えているが体調の状態を見て対応している。		排泄が及ぼす体の影響をみながら記録を参考に食物繊維の多い食材や水分をしっかりとる。
76		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 一人、一人の能力に応じた支援、義歯の定期的な消毒をしている。		排泄、残渣などのチェック、見まもり。
77	28	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 毎日、食事、水分チェック記入し、毎月の体重測定、入浴後の皮膚の変化を観察する。職員の申し送りを正確につたえようとしている。毎食に汁物を配膳、10時、3時、入浴後、外出後、等小間目に水分の補給をしている。		夏季は水分補給と排泄チェック。献立の見直し。
			(外部評価) 事業所で立てた献立について、外部の栄養士の方にカロリー計算をしてもらっている。食後にお茶のお代わりを促しておられた。		
78		感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	(自己評価) マニュアルの活用、早期対応、情報の共有をしているが徹底不足を感じる。		早期対応で二次感染を防ぐ。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
79		食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) まな板、布巾は調理の度に消毒、冷蔵庫も週1回の点検、掃除する。生ゴミの片付けや食材の安全確認をする。		冷蔵庫の食材の賞味期限や保管の安全。調理器具の洗浄、乾燥などをさらに徹底する。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
80		安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関先にベンチ、プランターを置き明るい雰囲気づくりをしている。		庭先の安全な駐車、近所の方も立ち寄れるベンチの活用。
81	29	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 花、風鈴、金魚など季節に応じた環境を作っている、壁には利用者の作品などを展示している。 (外部評価) 共用空間には、利用者からの提案で神棚を祀っておられる。利用者により生け花が飾られ、窓から自然の風を取り入れ風鈴が鳴っていた。		所内に入居者の作品の展示、居心地よく過ごす共有スペースがもう一つ欲しい。
82		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) 自室以外は一人になるスペースがない、リビングでいつも一緒なのでトラブル時は逃げ場がない。		屋外で気分転換、交流室の利用を考える。

自己評価及び外部評価票

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
83	30	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価)		
			利用者の希望に添う、TV、花、写真、位牌などを置くようにしている。		趣味、や思い出の品を置く。
			(外部評価)		
			お好みの本やご自分で作った手芸作品、ご家族の写真も飾られていた。テレビ、お位牌を持ち込まれている方もおられる。現在は、日中居間で過ごされることが多い。		さらに、居室のしつらえについて、利用者個々が心地よく過ごせる場所の工夫を検討していきたいと考えておられた。
84		換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価)		
			各室に換気扇、エアコン設備を設置し体調を見ながら移動しているが天候の良い時は換気を心がける。加湿器も必要に応じて使用している。		各個人の体調に合わせた空調の調整
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価)		
			手すりを要所に取り付け移動と安全に配慮している、床はバリアフリーでベッドの高さや畳などで自立できるように工夫している。		
86		わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価)		
			その時々状況にあわせた環境整備につとめている。		手を出しすぎず、見守る。
87		建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価)		
			畑で野菜を作り、プランターで花や稲を育て、テラスでは日向ぼっこをしている。		

. サービスの成果に関する項目		
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を 印で囲むこと)	判断した具体的根拠
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (自己評価) ①ほぼ全ての利用者の 2 利用者の2/3くらいの 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	各担当者が利用者を持ち、研修会で成果や疑問点を発表し、それを全員で検討している。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (自己評価) ②数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	散歩の時や夕食後など、十分に話を聞くようにしている。
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	自分で出来ることをしたり、声かけしたら一緒に楽しく参加する。自分で行動が難しくなると誘導することが多くなる。
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	趣味、外出、スポーツなどで賑やかに過ごす事が多い。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	日常の会話の中で、さりげなく聞いて散歩や買物などに出かけている。
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごさせている (自己評価) ②利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	個人差はあるが、観察、バイタルチェックでお話する、認知症が進むと自己の管理が難しい。
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (自己評価) ①ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	心身共に安定しているか、声をかけたり、話を聞いたり、観察している。
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (自己評価) ①ほぼ全ての家族と 2、家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	面会、家族会、通信などで家族と一緒に話を聞く。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (自己評価) ①ほぼ毎日のように 2 数日に1回程度 3 たまに 4 ほとんどない	入居者は地域の人が多い。

項 目	取 り 組 み の 成 果 (該 当 する 箇 所 を 印 で 囲 む こ と)	判 断 し た 具 体 的 根 拠	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている (自己評価)	1 大いに増えている ② ② 少しずつ増えている 3 あまり増えていない 4 全くいない	委員会のメンバーが積極的に情報を提供してもらう。
98	職員は、生き活きと働けている (自己評価)	① ① ほぼ全ての職員が 2 職員の2/3くらいが 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者と接する態度が両者とも明るい。
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価)	① ① ほぼ全ての利用者が 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	外泊しても、予定より早く自分から帰ってくる。
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う (自己評価)	1 ほぼ全ての家族等が ② ② 家族等の2/3くらいが 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	面会が多く、職員を交えての会話では信頼感があるようです。

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

小学校、保育園、公民館の隣接地であり、施設の立地を生かして子供達や地域の方と交流をして触れ合う事で利用者の喜びを感じたり、認知症を遅らす事が出来る様に努力している。